

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会
放送業務委員会（第3回）議事要旨

1. 日時

平成 23 年 8 月 31 日(水) 15:00～18:30

2. 場所

金融庁 9 階 共用会議室-2（904 会議室）

3. 出席者（敬称略、五十音順）

（主査代理）

都竹（名城大）

（専門委員）

石田（日本テレビ）、川口（テレビ朝日）、工藤（民放連）、高橋（フジテレビ）、西田（NHK）、平川（東芝）、三木（三菱電機）、山内（NHK）

（事務局）

総務省情報流通行政局放送技術課

田中課長、沼田技術企画官、浦本課長補佐、川上係員

4. 配布資料

資料 放-3-1	放送業務委員会（第2回）会合議事概要（案）
資料 放-3-2	2011 年秋期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要
資料 放-3-3	放送業務 WG における検討結果（案）
資料 放-3-4	ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）
資料 放-3-5	今後の検討スケジュール（案）
参考資料	放送業務委員会構成員名簿

5. 配布資料確認

事務局から配布資料の確認を行った。

6. 議事

6-1 議事録の確認

資料 放-3-1「放送業務委員会（第2回）会合議事概要（案）」について、専門委員より修正提案があり、委員会終了後、別途事務局まで連絡することとなった。

6-2 2011 年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要

資料 放-3-2「2011 年春期 ITU-R SG6 関係ブロック会合の概要」に基づいて、事務局から説明があった。

6-3 放送業務 WG における検討結果（案）

資料 放-3-3「放送業務 WG における検討結果（案）」に基づいて、放送業務 WG 主任の西田専門委員から説明があり、外国寄書審議票（案）及び日本寄与文書（案）が審議され、意見等がある場合は、9月2日（金）18時までに事務局まで連絡することとなった。

主な質疑応答は以下のとおり。

<WP6A>

○6A/546 Ann15（新レポート草案 ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]に向けた作業文書）
について

- ・混信保護比を D/U ではなく I/N で評価するということか。
→そのとおりである。

○日本寄書 A3（Report ITU-R BT.2140 の改訂提案 アナログから地上デジタル放送への移行）について

- ・国際展開という観点で、アナログスイッチオフに関する資料を当省の HP に掲載している。それには成功のための 5 つの TIPS を載せており、各国にも配布している。SG6 会合へもお持ちいただき、ばらまくのも良いかと考えている。TIPS は、あまりにも手厚くフォローした、というような内容に仕上がらなかったため、スマートにまとめた。前向きな話のみを集めたものである。（事務局）
→実際に現地ではばらまくのは難しいので、Appendix や Attachment 等に載せる方が良いのではないか。

- ・p.4 に 1800 億円など、具体的な数値が記載されているが、これは必要ないのではないか。（事務局）
→金額ではなく、チャンネルのほうが大事な話なので、この部分は削除しても良いと思う。

○日本寄与文書 A5（携帯向けマルチメディア放送のプランニング基準に向けた骨子）

- ・マルチメディア放送の伝送方式の勧告について、DVB-H はスクエアブラケットになっているが、DVB 陣営は情報を入れていないのか。（事務局）
→寄与文書が入力されていないので、スクエアブラケットのままになっている。

<WP6B>

特に議論なし。

<WP6C>

- 日本寄与文書 C5（番組音声ラウドネス測定に関連した議長報告 6C/490 Annex8, Annex11 へのコメント）について
 - ・番組全体ではなく、瞬時のラウドネスメーターが必要である。
 - 日本として、勧告 BS.1771 の内容を変えることは適当ではない。

- 日本寄与文書 C6(勧告 BT.1210 改訂案および新レポート案に対する提案 — 画質評価用テストマテリアル) について
 - ・前回の SG6 会合でテスト画像に関する勧告 BT.1210 の改訂案が差し戻しとなったが、その時のコメントに対応した勧告改訂案である。テスト画像が多いという意見もあったが、これ以上絞り込めないなので、この内容で良いと考えている。
 - 前回会合で、イタリア、スイスが反対した主な理由は何か。(事務局)
 - スイスは勧告とレポートを分けるのは良くないという考え、イタリアは画像が多すぎるという考えであった。

- 日本寄与文書 C7（PDNR BT.[GVC]および勧告 BT.1845 に記載の設計（最適）視距離、視角の修正案）について
 - ・数値が最適なものではないので、正しい値に修正する。また、本寄与文書を WP6B にも入力する。

- 日本寄与文書 C9（ステレオ 3D 映像の快適な視聴のための基本的考え方）について
 - ・Annex2 にリエゾン文書案を付けているが、もっと厳しい内容にしないで良いか。もともと、放送事業者の方が、3DTV に関する内容を ISO で決められるのが危険、と判断して出した文書だと思うので、もっと強い表現にしてもらいたい。(事務局)

- 日本寄与文書 C10（3DTV の空間歪み予測装置）について
 - ・情報提供ということに留めず、該当するレポートへの記載を期待する。(事務局)
 - それでは本寄与文書のタイトルを、レポート改訂案というタイトルに修正する。

6-4 ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）

資料 放-3-4「ITU-R SG6 関係ブロック会合への対処方針（案）」に基づいて、事務局より説明があり、特段意見なく承認された。

6-5 今後の検討スケジュール（案）

資料 放-3-5「今後の検討スケジュール（案）」に基づいて、事務局より説明があった。

7 閉会